

# 未来 ひだか

みらくる

日高農業改良普及センター



指導農業士・農業士会現地研修会の様子（新冠町 今野農場）

## 日高管内指導農業士・農業士会現地研修会

令和元年10月21日に日高管内指導農業士・農業士会の現地研修会を開催しました。研修会には管内指導農業士・農業士会の会員をはじめ、次代を担う青年農業者ゼミナールの受講生や、町、JA、振興局、普及センター職員が出席しました（出席者36名）。

視察先のJAしずないPB米「万馬券」色彩選別施設では、担当課長や村田稲作振興会会長から施設の概要や「万馬券」の販売について説明をいただきました。また、新冠町で施設園芸の大規模経営をされている今野農場では、ピーマン、ミニトマトの大規模生産を支える労働力確保のため、外国人技能実習生が欠かせない存在になっている現状などについて伺いました。さらに、新ひだか町で新規就農により施設園芸に取り組む中村農場では、収量向上による所得確保のため優良な技術を積極的に取り入れ、経営の向上に取り組まれている状況を視察しました。

指導農業士・農業士会では、このような研修をとおして担い手の育成や先進的な技術導入に関する情報交換を図り、会員の資質向上と地域の関係機関との連携強化に取り組んでいきます。



JAしずない 色彩選別施設



新規ミニトマト農家 中村農場

# 参考にしよう！ 地域の活動事例

## 土壌硬度測定で草地更新の効果を確認

【本所 地域第1係】

普及センターとJAにいかっぴでは、草地更新の効果を確認するため、9ほ場の土壌硬度を測定しました。

その結果、草地更新は植生や土壌pHの改善だけではなく、土壌の物理性改良にも有効であることが、土壌硬度の調査事例でわかります(図)。

硬度が高い堅密土壌は根の発達を阻害します。

根の観点からも、是非計画的な草地更新を！



写真 土壌硬度の測定

表 土壌硬度と堅さの程度

土壌の堅さ	土壌硬度
低い	1. 1MPa以下
中程度	1. 2~1. 4MPa
堅い	1. 5MPa以上

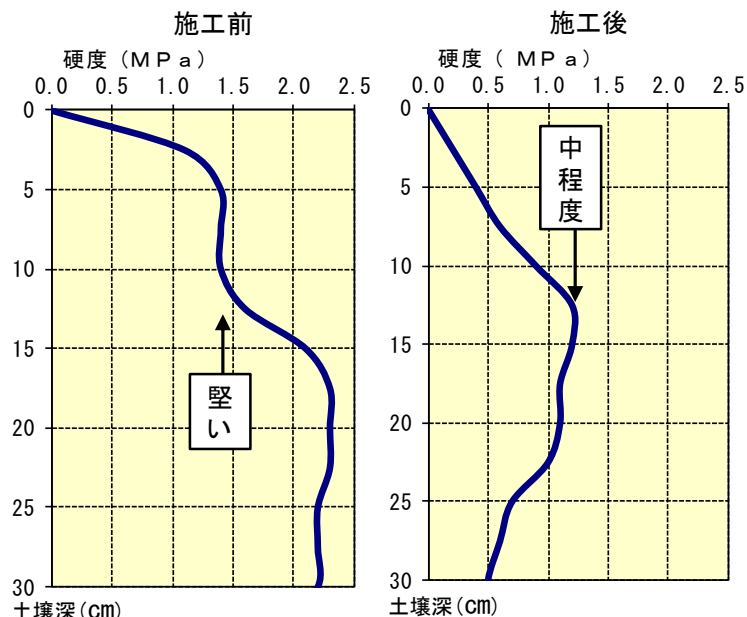


図 草地更新施工前と施工後の土壌硬度調査事例

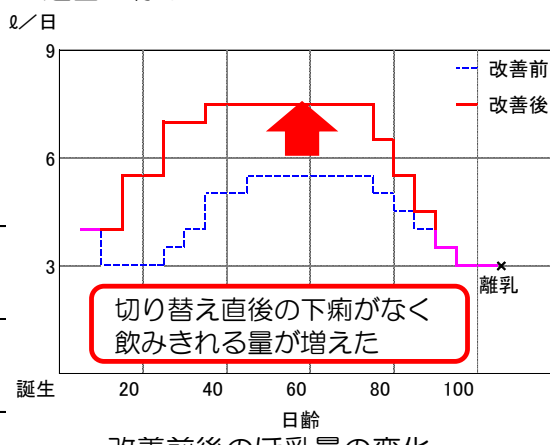
## ほ乳改善による肉用牛の発育改善の取り組み 【本所 地域第2係】

平成30年度(2018年度)よりJAと連携し、A町の黒毛和牛生産改良組合を対象に発育改善による素牛市場評価の向上を目指した活動を実施しています。その中で、ほ育時の下痢に悩んでいる農業者に対して、代用乳切り替えによる発育の改善を目指しました。

JAと一緒に定期的な体測を行いながら、ほ乳方法を見直した結果、切り替え後の下痢の発生が減少し、ほ乳量が増加しました。取り組みは、一部から始めましたが、結果を参考に農業者自らが全頭実施するようになり、出荷時の日齢体重も増加しました。



巡回の様子



日齢体重の変化(市場データより)

	2017年		2018年		2019年	
	頭数	日齢体重	頭数	日齢体重	頭数	日齢体重
去勢	37	0.95	22	1.02	25	1.10
雌	3	0.82	12	0.93	8	1.01

※ 2019年は、11月までのデータ

# 参考にしよう！ 地域の活動事例

## 女性のためのトマト学習会～スマイル☺トマト女子会～ 【西部支所】

日高西部支所では平成29年度（2017年）から女性のためのトマト学習会「スマイル☺トマト女子会」を開催しています。

開催から3年目を迎え、「トマトの基本技術を教えて欲しい」から始まった基礎講習会は「もっと高いレベルの勉強がしたい」との要望に変化しました。

技術レベルに即した研修会にするため、令和元年度から基礎コースと応用コースに分けて開催しています。

応用コースでは農薬選定の考え方や根の働きについて講習しました。参加者からは「根について勉強する機会がなかったので良かった」「現地の事例にあった内容で勉強になった」と好評でした。

講習会前にランチ会を開催し、女性農業者ならではの問題や悩みについて女子トークにも花を咲かせていました。



指導農業士ほ場現地研修会



農薬やGAPについて理解を深めました



研修会前のランチ会で交流

## 次代を担う青年農業者ゼミナールで管外視察研修を行いました 【広域班】

令和元年11月7日に管外視察研修会を開催しました。研修会にはゼミナール生をはじめ振興局、普及センターの職員も出席しました（出席者14名）。

視察先は長沼町で農産物の高付加価値化や担い手の育成に取り組む(株)押谷ファームです。代表の押谷行彦氏から農場の経営概要について説明していただいた後に就農までの経過や経営の特徴についてお話を伺いました。平成13年（2001年）に就農以来、土づくりと作物の品質向上に取り組み、他では作れないオンリーワンの作物作りに取り組んできた点や、そのことが安定した販売につながった点について説明がありました。また実習に入った5組の就農希望者を町内で就農させた経過についても説明があり、担い手育成に対する強い思いを伺いました。今後ともゼミナールでは、このような研修をとおして地域のリーダーとして活躍できる人材の育成に向けて取り組んでいきます。



押谷氏の話に熱心に耳を傾ける出席者



研修に参加した方々

## 動き出した！日高管内の「GAP」について紹介します！

【広域班】

日高管内初！JGAP認証取得。令和元年9月6日、新ひだか町三石 株式会社ファームホロは、約1年半をかけて農場内の改善を行い、アスパラガスで認証を取得しました！さらに令和2年2月3日、静内農業高校でもASIAGAPの審査が行われます。現在は、審査に向けて農場内の改善中です。他にも認証取得に向けGAP取組み中の農業者もいます。

また、令和元年10月11日、管内農業指導者向けGAP研修会を静内農業高校で開催しました。令和2年2月3日にも認証審査に併せて研修会を開催する予定です（左下参照）。管内で浸透してきたGAPについて、是非この機会に参加しませんか？

### GAP研修会（予定）

日時：令和2年2月3日

場所：静内農業高校

#### 【研修会の内容】

- ①ASIAGAP審査の視察
- ②GAPに関する情報提供

※詳細は普及センターまで



ファームホロ JGAP認証取得



静内農業高校 GAP研修会風景

## 浦河町4Hクラブ視察研修を開催！

【本所 第2係】

令和元年10月24日に岩内町の「NPO法人ホーストラスト北海道」で浦河町4Hクラブの視察研修を行いました。

ホーストラスト北海道では、現役を引退した馬を預かり、馬と人が触れあえる環境を作っています。代表の酒井さんからは資金面で苦勞していること、馬の健康管理で気をつけている点などをお話していただきました。

4Hクラブ会員もこの活動に感銘を受け、飼養管理や健康管理について熱心に質問していました。「今後も連絡をとりあって馬の将来について共に考えたい」という声があり、良い情報交換の場になりました。



牧場見学の様子（中央：酒井代表）

## JA門別 日胆地区「ゆめぴりか」コンテスト金賞受賞！

【西部支所】

令和元年11月13日、苫小牧市の日胆農業会館で開催された日胆地区「ゆめぴりか」コンテストで、JA門別が金賞を受賞しました。

胆振・日高管内全10農協の「ゆめぴりか」が出品され、消費者協会会長や料亭関係者など8名による味や香り、粘りなど6項目の審査結果から、最も高い評価を得ました。

これまでの努力が評価され、今後の高品質米生産に大きな励みとなりました！



森永産米改良協会会長（中央）

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521  
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918  
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6

日高農業改良普及センターホームページアドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>